

ろよありしとて傳へく或は終は奥のふとこよとく
 鷹われは母その子とてむとくひよとてみしもとて胡
 とくきとてまれし鷹われは魚とてうしとてひ鷹といひ此
 故よりとてあるとて鷹書りて引とて君侯此の終へるハ
 づよとてあるとて又著聞集より一条院御祕藏の鷹は逸物
 なりしとてあるとてあるとて國とてうけとてまれは鷹といひと
 仕入のしとて栗田よりつとてとて依田小三郎豊平とて
 逸物のしとてひて終は南庭の汝れ鯉とてうしとて始はとて
 るとも逃さずとてし御感のわまり信濃國より田園と
 賜ふとてしとて則此秀鷹と鯉丸と名附たまふ鯉とて